

事業実施計画書《特別枠》

法人個人事業主

1 実施主体の概要

企業名	株式会社▲▲▲▲	
住所	(〒803-8501) 北九州市小倉北区大手町1-1	
(フリガナ) 代表者名	姓 (コクラ) 小倉	名 (ジロウ) 次郎
業種	<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input checked="" type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> 宿泊・観光業 <input type="checkbox"/> 飲食業 <input type="checkbox"/> 理美容業 <input type="checkbox"/> その他 ()	
資本金・出資金 (千円)	5,000 千円	主な業種1つにチェック
従業員数 (代表者を除く)	10 人	
(フリガナ) 担当者職・氏名	(ヤハタ リョウコ) 総務課長 八幡 良子	
電話番号・ファクシミリ	(電 話) 093-582-●●●● (F A X) 093-582-▲▲▲▲	
担当者メールアドレス	yahatayoshi@kitakyushu.co.jp	
誓約・同意事項 ※誓約する場合は、各項目の誓約欄に○を記載すること。 ※必ず、全項目、確認すること。	提出にあたり、以下の事項について確認し、相違ないことを誓約します。	
	誓約	項目
	<input type="checkbox"/>	宗教上の組織若しくは団体に該当しないこと。
	<input type="checkbox"/>	現在事業を実施していること。(臨時休業を含む。)
	<input type="checkbox"/>	市税の滞納その他の市に対する債務不履行がある等補助金の交付が適当でないと認められる者でないこと。
	<input type="checkbox"/>	計画書の記載について、不正や虚偽がないこと。
<input type="checkbox"/>	補助対象期間内(最長令和6年2月16日まで。ただし、暑さ対策のための大規模な職場環境整備は令和6年2月28日まで)に、支払含め補助事業が完了しない場合、補助金が交付されないことあらかじめ同意すること。	
<input type="checkbox"/>	納品等が間に合わず、補助金が交付されない場合を想定し、予め、発注(予定)先と取扱いに合意しておくこと。(例:補助金が交付されない場合は、発注キャンセル、自己負担での発注等)	

2 売上高・売上総利益(粗利)の状況

比較方法を選択	<input type="checkbox"/> ①売上高での比較	<input checked="" type="checkbox"/> ②売上総利益(粗利)での比較	<input type="checkbox"/> ③広義の粗利での比較
	※上の比較方法を✓の上、下表に金額等記入。		

対象期間には、令和4年4月以降で選択した売上又は粗利等の状況を記入

基準期間には、対象期間に対応する過去3年のいずれかの年の同期間のものを選択

対象期間		売上高／粗利額／広義の粗利額		基準期間	過去3年（令和4年11月までの間）のいずれかの年の同期間		差引額（減少額） C=B-A	
R_5年_7月		1,100,000 円			R_4年_7月			1,250,000 円
R_5年_8月		1,200,000 円			R_4年_8月			1,300,000 円
R_5年_9月		1,000,000 円			R_4年_9月			1,250,000 円
計(A)		3,300,000 円		計(B)		3,800,000 円	500,000 円	
減少率 C ÷ B × 100 ※小数点以下切り捨て							減少率	13 %減
創業特例の適用 <input type="checkbox"/> 有 ※内容は募集要項を参照								

比較方法	算定方法
①売上高	基準期間 確定申告書類に記載された月額（実売上高）とする。 対象期間 売上台帳、月次決算書類等で把握できる月額（実売上高）とする。
②売上総利益（粗利）	売上高－売上原価（※1） ※1 売上原価＝期首棚卸高（在庫）＋仕入高－期末棚卸高（在庫）
③広義の粗利	売上高－売上原価－販管費のうち物価高騰の影響が認められる経費（※2） ※2 荷造り運賃費、水道光熱水費、燃油関連経費（ガソリン代等で個別に管理されている場合に限る）、その他販管費に計上されているが売上原価に類する経費であって物価高騰の影響が認められる経費（個別に管理されている場合に限る。）

※過年度分(基準期間)の①売上高、②粗利、③広義の粗利は実績額によることを原則とするが、白色申告等で月額実績の提出が困難な場合、年額÷12をひと月当たりの額とすることができる。

他の補助金を交付されている場合でも、本事業と関わりのない内容の場合は、「無」を選択

本事業を行うため必要と見込まれる事業期間を記入

3 事業の概要

事業期間	開始	令和5年12月1日	終了	令和6年2月10日 ※最長令和6年2月16日まで(事業に係る支払を含む)ただし、暑さ対策のための大規模な職場環境整備は令和6年2月28日まで
本事業(今回の取組)を行うにあたって、他の補助金の活用有無 ※ いずれかに○	<input checked="" type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 有	有の場合は、以下を記入	
	補助金名称		活用内容	

4 事業費及び補助金の見込額

1) 事業（取組）実施に必要な経費（支出）

実施区分	費目	経費概要	発注先／所在地	金額(消費税抜きの額)	合計額(A)
女性活躍	施設改修費	パウダールームの新設	北九工務店 (北九州市)	2,000,000 円	2,400,000 円
女性活躍	講師謝礼	女性リーダー育成研修の実施	●●●氏 (北九州市)	150,000 円	
女性活躍	会場費	女性リーダー育成研修の実施	●●ホテル (北九州市)	50,000 円	
女性活躍	報酬	就業規則の変更	▲▲社会保険労務士事務所(北九州市)	200,000 円	

補助金の見込額 ※千円未満切り捨て

<input checked="" type="checkbox"/> 女性の就業・活躍促進のための職場環境整備 ※事業対象経費合計額(A)133334円(税抜)以上が対象 補助対象経費合計額 (A) × 3 / 4 (上限額 100 万円)	1,000,000 円
<input type="checkbox"/> 暑さ対策のための大規模な職場環境整備 ※事業対象経費合計額(A)200万円(税抜)以上が対象 補助対象経費合計額 (A) × 1 / 2 (上限額 1,000 万円)	

※補助事業に係る経費は、原則、市内事業者への発注に限ります。やむを得ない理由により、市外業者へ発注する場合は、別紙様式「市外業者発注理由書」を提出してください。

【実施区分】下記のいずれかを記入
女性活躍、暑さ対策

いずれかにチェック

(2) 資金計画 (収入)

区分	金額 (消費税抜きの額)	調達先
市補助金	1,000,000 円	北九州市
自己資金	円	-
借入金	1,400,000 円	●●銀行
その他 ()	円	
合計	2,400,000 円	(1) 合計額 (A) と同額

5 実施内容

いずれかにチェック

「5 実施内容」の各項目は、できるだけ具体的に記載

実施区分 該当に✓	<input checked="" type="checkbox"/> 特別枠1 女性の就業・活躍促進のための職場環境整備 <input type="checkbox"/> 特別枠2 暑さ対策のための大規模な職場環境整備	
現在の事業 の実施内容	<p>市内で、食材、雑貨、家具等のトラックによる配送業務を実施している。</p> <p>補助事業に関する実施内容ではなく、会社として取り組んでいる事業全体の内容を記載</p> <p>物価高騰が現在の事業にもたらす影響と、高騰前後でのコストの差を同月比等の数値等で明確に記載</p>	
物価高騰で 生じている 課題	<p>ガソリン代等の燃料費の高騰に加え、電気代やガス代は、令和5年1月料金が昨年同月比で1.5倍となるなど、コスト増に苦しむ。</p> <p>コロナ後で売上は戻りつつあるものの、コスト高により経営を圧迫している。</p> <p>また、人材不足が深刻となっており、その対応が急務である。</p>	
チャレンジ する事業 (取組)	<p>特別枠1 女性の就業・活躍促進のための職場環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の新規雇用・定着を図るため、女性社員より要望の高いパウダールームについて、社内に整備する。 ・女性の管理職の育成を推進するため、外部講師を招き、市内ホテルを会場に、管理職、女性社員を対象にした研修会を実施する。 ・女性が柔軟に働くことができるよう、フレックスタイム制を導入する。それに伴う就業規則の改正を社会保険労務士に依頼する。
選択した区分 ごとに概要を 記載	<p>特別枠2 暑さ対策のための大規模な職場環境整備</p>	<p>チャレンジする取組の内容(目的、方法、手段)を具体的に記載。その際、「4 事業費及び補助金の見込額」で記載した経費概要についても詳しく記載。</p>
事業実施による 効果(見込)	<p>今回、パウダールームの新設、女性の管理職育成、フレックスタイム制の導入を行うことにより、女性の働きやすい環境づくりが一層進む。これにより、女性社員の定着、新規採用に結びつけるとともに、女性の管理職を増やすことで、女性ならではの視点で新たなサービスの考案など、経営基盤の強化につながるが見込まれる。</p> <p>新しい事業(取組)によって、どのくらいの売上、利益、効果が期待できるか。どのくらいの経費、費用を削減できるか。を定量的に(数字等で明確に)記載。</p>	
将来の展望・長期的な 経営方針 ※記入必須	<p>他の業種と同様に、物価高騰や人材不足の影響の長期化が見込まれるとともに、2024年問題も抱えている。そのような中、長期的な視点を持ち、持続可能な経営を行っていくためには、社として、女性の活躍推進が不可欠であると考えている。今後、女性人材の確保、定着、育成、待遇改善をより一層進めていき、経営基盤の強化を図っていきたい。</p> <p>補助金の採択要件のため、以下について、必ず、具体的に記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい取組が今後どのように次の事業(将来)に結びつくか ・どのような戦略で経営基盤を強化していくか 	